

第14回 インチャージ業務について

早い年次でインチャージ業務が
経験できることについて



受験生の皆さん、こんにちは。論文式試験お疲れ様でした。J2のG.Mです。今はリクルートイベントに参加されている時期でしょうか。皆様の就職活動の一助となるよう、今回はインチャージ業務について書いていこうと思います。

皆さん既にご存知かもしれませんが、まずはインチャージについて簡単に説明させていただきます。

インチャージとはいわゆる現場責任者です。対内的には、監査計画から意見形成に至る過程における総括の作成や期末監査、内部統制監査の往査日程の調整、作業分担表の作成やチームメンバーの作業の進捗管理などをします。また対外的には、クライアントとの窓口になることが多いので、クライアントとの打合せに係

る日程の調整、必要な資料の依頼、論点の解決、チームメンバーの質問の整理等を行います。

インチャージを担当すると、自分の裁量で仕事を進められる部分が俄然多くなるので、その分仕事の充実感も増していきます。一方、クライアントとの窓口になることが多い以上、クライアントとの良好な関係の構築という点では責任がより増していきます。また、前述したように様々な仕事をするようになるため作業量という意味でも大変です。

アークでは入社2年目くらいからインチャージ業務を担ってもらうことが多いですが、いきなり独



り立ちさせることはありませんので怖がらなくて大丈夫です！また、インチャージとして現場を回せる能力は、公認会計士として監査業務を長く続けるのであれば、必須のスキルだと考えられます。そのようなスキルを早い段階で身に着けることができるアーク有限責任監査法人は、その点、お薦めできる監査法人です！